



今年の夏の特徴は「気温が高く雨が少なかった」と言えます。

<月別経過>

5月： 上旬＝日本の東海上にある優勢な高気圧の張り出しの中に入り、天気は周期的に変わり気温は高かった。

中旬～下旬＝暖かい高気圧から北海道の北の気圧の谷に向かって暖かい空気が流れ込み、気温はかなり高くなった。また、月降水量は平年の62%と雨が少なかった。

* 27日の最高気温31.4℃は従来の5月の高い方の記録より3度以上高く、第1位の記録。

* 月平均気温13.1℃は、5月の高い方の第1位の記録。

* 月間日照時間258.2時間は平年の140%で5月の多い方の第1位の記録

6月： 上旬＝高気圧の張り出しの中で晴れた日が多く、気温も平年より高めに経過した。
中旬～下旬＝概ね周期的に天気が変わったが後半は低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かった。

* 月降水量の合計97.0mmは平年の約1.5倍。

* 22日の日降水量67.5mmは6月の多い方の第3位の記録。

7月：上旬～中旬＝低気圧や気圧の谷の中となって雨の降った日が多かった。
下旬＝高気圧の張り出しの中で晴れた日が多く、月末には温かい空気が流れ込み
真夏日になった。

*月降水量の合計55.5mmは平年の55%と7月の少ない方の第9位の記録。

8月：上旬＝高気圧の張り出しの中となって晴れた日が多く、6日まで真夏日が続いた。
中旬～下旬＝低気圧や気圧の谷、湿った気流等の影響で雨の降った日が多かった。

*月降水量の合計194.0mmは平年の約1.2倍。

なお、7月30日～8月6日までの8日間30度以上の真夏日が続き統計開始以降最も長い期間となった。